

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和6年2月分:速報)

<対世界>

- 輸出総額:9,370 億円(伸率: +16.6%) ⇒ 22か月連続のプラス
 - ・順位: 13位、2月としては1位
 - 【順位は、昭和54(1979)年1月以降(542か月、2月は46か月)による。以下同じ。】
 - ・増加品目:自動車(同+31.0%)、半導体等電子部品(同+35.8%)
- 輸入総額:8,502 億円(伸率: +1.5%) ⇒ 10か月ぶりのプラス
 - ・順位: 24位、2月としては1位
 - ・増加品目:金属鉱及びびくず(同+47.0%)、原油(同+10.4%)
- 差引額:868 億円 ⇒ 2か月ぶりの輸出超過
 - ・順位: 90位、2月としては9位
 - 為替レート: 2024年2月:148.18円/ドル(2023年2月:130.38円/ドルと比べ13.7%の円安)

<品目別動向>

○輸出

自動車(1,948億円→2,551億円、伸率: +31.0%)は、中国(208億円→587億円、同2.8倍)及びアメリカ(535億円→773億円、同+44.5%)向けが増加し、13か月連続のプラスとなった。

また、半導体等電子部品(898億円→1,219億円、同+35.8%)は、ベトナム(159億円→305億円、同+92.0%)及び香港(161億円→245億円、同+52.7%)向けが増加し、5か月連続のプラスとなった。

一方、石油製品(103億円→15億円、同▲85.9%)は、オーストラリア(45億円→38万円、同▲100.0%)及びアメリカ(27億円→8千万円、同▲96.8%)向けが減少し、10か月連続のマイナスとなった。

○輸入

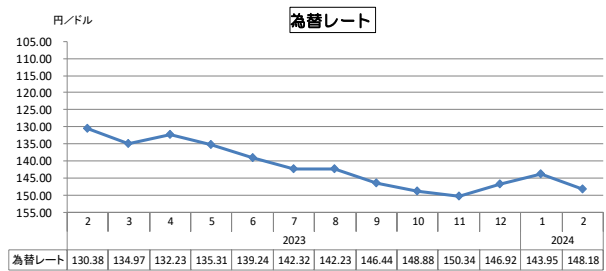
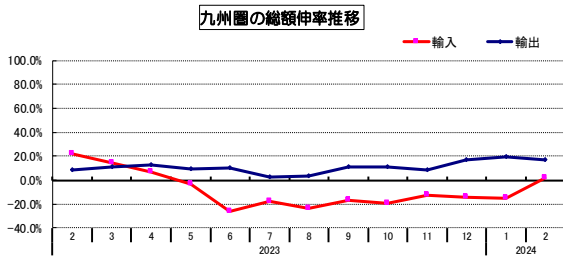
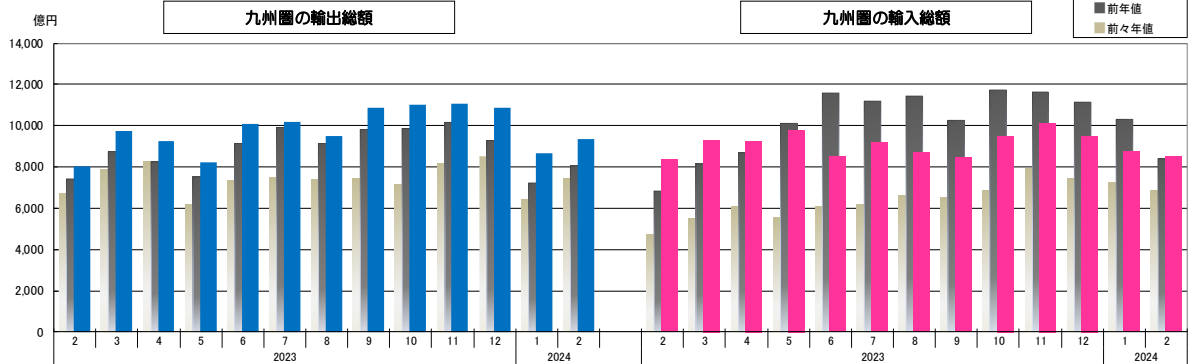
金属鉱及びびくず(606億円→891億円、伸率: +47.0%)は、銅鉱(298億円→491億円、同+64.5%)が増加し、5か月ぶりのプラスとなった。

また、原油(236万KL→242万KL、同+2.9%、1,702億円→1,879億円、同+10.4%)は、数量、価額ともに増加し、3か月ぶりのプラスとなった。

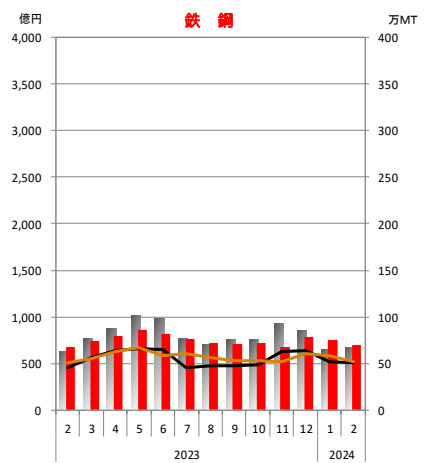
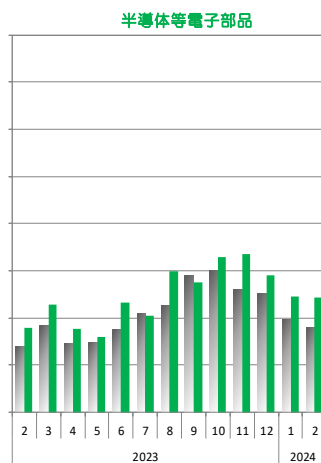
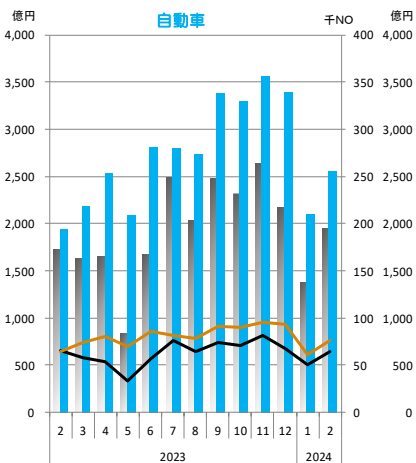
一方、石炭(354万MT→321万MT、同▲9.5%、1,579億円→945億円、同▲40.2%)は、数量、価額ともに減少し、10か月連続のマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

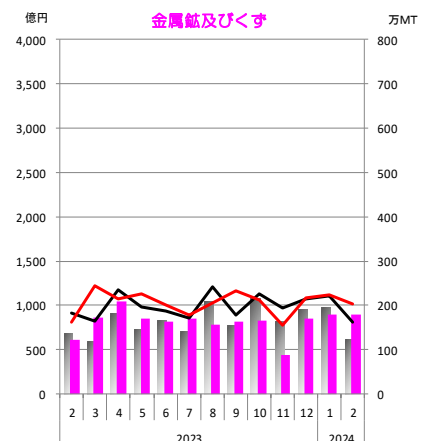
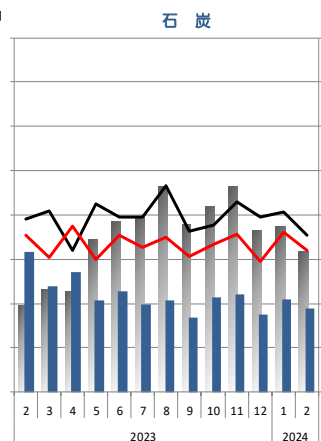
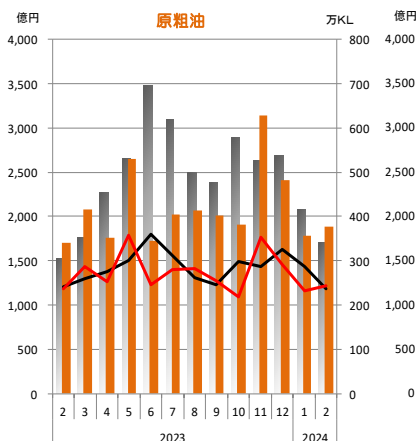
令和6年2月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。